

し尿浄化槽は

正しく管理しよう

し尿浄化槽は、私たちの生活を快適で衛生的なものにしてくれます。しかし、正しく管理をしないと一変して臭気の発生や放流水質を悪くし、側溝や河川を汚す結果となり、近所の苦情のもとになります。最近では、し尿浄化槽の普及がめざましい反面、苦情も増加しています。これらの苦情を防止するためにも、し尿浄化槽の設置者は、次のことを守りましょう。

◆設置する場合は

届出が必要◆

し尿浄化槽を設置する場合は、今市保健所に届出をし、浄化槽が基準どおりに設計されて、衛生的に処理されるかどうか、確認を受けなければなりません。

◆清掃は年一回以上◆

し尿浄化槽がいつも正常に働けるように、専門的知識と経験を持つ、し尿浄化槽管理技術者と契約して、年一回以上の清掃を行うことが、設置者に義務づけられています。義務ばかりでなく、実際に年一

回以上の清掃をしないと、し尿浄化槽の機能を発揮しません。公害防止の意味からも、不潔な生活環境は好ましくありません。お互いに注意しあうことが大切です。

◆便器の掃除◆

便器の掃除には、クレンザーか中性洗剤をぬるま湯に溶かして使しましょう。塩酸などの強い薬品を使うと、汚物を浄化するバクテリアを殺すので、使用しないでください。



◆し尿浄化槽は大切に◆

し尿浄化槽上のマンホールには、ものをのせないでください。特に、送気孔を塞ぐと酸化作用が著しく減退し、能力が低下して、臭気が強くなります。

市内全域 春のいっせい大掃除 5月15日(日)

5月15日(日)は、春のいっせい大掃除の日です。当日は、市内を巡回する収集車が、燃え尽きたゴミを回収し、燃やします。この日、市内を巡回する収集車が、燃え尽きたゴミを回収し、燃やします。この日、市内を巡回する収集車が、燃え尽きたゴミを回収し、燃やします。

◆消毒してから放流◆

し尿浄化槽で浄化されたし尿でも、中には伝染病のもとになる病原菌がまだ生きています。消毒してから放流しましょう。

◆殺虫剤の散布◆

し尿浄化槽からは、チカイエカという小型の蚊が年間を通じて発生することがあります。適時殺虫剤を散布しましょう。



市史編さん室だより

明治からのあゆみ

明治43年⇒45年

- ⑭細尾第二発電所完成(明治43年4月)
足尾銅山と、日光精銅所の事業拡張にともない、これまでの別倉、細尾第一発電所だけの供給料では足りず、新たに細尾第一発電所の下方に、最大出力六千ワット、常時出力四千八百ワットの細尾第二発電所が建設された。
- ⑮日光軌道完成(明治43年7月18日)
日光軌道は、この年の7月18日、総工費二十八万八千円余をかけて、日光駅から清滝岩ノ鼻までの九・六キロが完成した。日光軌道会社は、三百ワットの自家水力発電所と客車五輛と貨車十一輛を有し、翌明治44年中の乗客数は、十五万五千人余という順調なすべり出であった。この電車布設で、従来の牛車軌道は、この日をもって完全に廃止された。
- ⑯松原発電所建設(明治43年8月10日)
清滝字松原に、出力二百二十ワットの松原発電所が、日光軌道電車への供給を目的に建設された。この発電所は、第二次大戦中、古河鋳業が背戸山発電所を建設したため廃止された。
- ⑰在郷軍人会日光町分会設立(明治43年11月3日)
帝国在郷軍人会の発会にともない、各府県には支部を、全国市町村には分会を置き、日光でも本部の創立と同時に、分会が設けられ、初代会長には、陸軍三等軍医平松孚之が就任した。分会は、各字と大字に設けた班制度の班長を統率し、日光町全体として活躍した。
- ⑱帝国議会に「日光を国立公園と為すの請願



現在の日光発尾尾発電所